

中川接骨院だより

2025年3月1日発行 第241号

人間の感情は、人体のどこで生まれるのか？

心がどこにあるのか、精神とは何かという問題は、長い間謎とされてきました。しかし、科学の進歩で、今では「心や精神は脳にある」ということがわかってきました。



まず、基本的な感情である喜怒哀楽から見ていきましょう。これらの感情を生み出すのは、脳の「視床下部」と「扁桃体(扁桃核)」という部分です。

視床下部は、脳中央部の奥まったところにある間脳に位置し、呼吸や血流や消化などにかかわる自律神経をコントロールします。扁桃体は、大脳の中でも旧皮質・古皮質からなる大脳辺縁系という場所にあって、危険を察知したり、快・不快の区別をしたりします。

例えば敵に襲われて扁桃体が反応すると、視床下部が交感神経を興奮させて血圧や心拍数が上がり、総合して恐怖や怒りが生じます。食べ物が見つかったときには扁桃体が快感のサインを出し、視床下部は副交感神経を優位にするので、気分が落ち着き満足感を得ます。

これら怒りや喜びの反応は「情動」と呼ばれ、人間だけでなく動物がみな持っている基本的な感情であり、危険から身を守り生存するために役立っています。

人間の場合は、この反応が脳全体に伝わり、大脳の新皮質で知性と相まって、さらに複雑な感情が生まれます。

例えば目標を達成して嬉しいとか、そのために苦しくても頑張ろうとかいう心の動きです。

このとき情動を伝えるのが、ドーパミンなどの神経伝達物質です。「脳内ホルモン」とも呼ばれ、快感を伝えるドーパミン、怒りや不安のノルアドレナリン、恐怖や興奮を伝えるアドレナリンなど、全部で200種類以上もあると言われています。

こうした神経伝達物質を分泌しコントロールするのも、脳の神経細胞なのです。

このように脳の複雑極まりないシステム全体が働くことによって、さまざまな感情が生まれてきます。人間の心とは、まさしく脳の働きそのものなのです。

「人体の不思議」博学こだわり倶楽部から引用

漢字を完成させます



隠れている部首をいれて

熟語を完成します。

当院での症例 左前腕骨の若木骨折

高岡市在中 13歳 男性

【問診】

学校の休み時間にふざけて走っていて、転倒した際に左手を着き負傷

【検査・テスト】

橈骨遠位端の限局性圧痛と腫脹、皮下溢血、運動制限、受傷発生機転から骨折の疑いがあり、病院でレントゲン検査を依頼する。医師より若木骨折と診断、医師の同意を得て施術する。

【施術】

遠位骨を末梢方向へ牽引し短縮転移を除去、遠位橈尺関節を絞め込み整復完了、レナサーモギプス固定を施す

【考察】

レントゲン写真ではわかりにくい若木骨折で、運動中に転倒し、手を着いた際の介達外力による骨折です。

子供の骨折で最も注意しなければならないことは、大人にはない成長線で骨折することがあります。これを骨端線損傷（骨端線離開）と言います。これは骨より

も軟骨の方が強度的に弱いために、骨の部分でおれずに、成長軟骨の部分でおれることによって生じます。この部分で骨折をすると、骨が伸びなかったり、変形して成長してしまうことがあるので注意が必要です。

接骨院での治療の利点(手術を伴わない骨折)

☆入院しなくても治療可能 ☆毎日、経過の観察が出来る(インフォームドコンセント)

☆親切、丁寧、治療費が病院に比べビックリするほど格段に安い。

(具体的な治療法と負担金額などはお尋ねください)

早期の治療は関節を元の状態に戻し、後遺症を残さないためにも重要です。



疲労等による腰痛、肩こり、O脚、骨盤矯正には**カイロプラクティック**が効果的です。

カイロプラクティックは、真の原因をさぐり全身的な施術を施します。

初診料(検査) 2,200円

治療料 4,400円

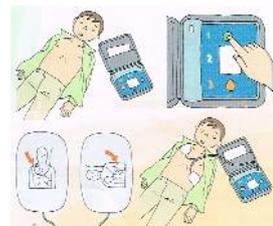
回数券 [5回券] 21,000円

回数券 [10回券] 36,000円

回数券は家族の方もご使用できます。 但し初診料(検査) 2,200円は別途必要です

編集後記

先日、AEDを使用した救命講習を受講しました。私は志貴野中学校柔道部のスポーツエキスパートとして指導員を長年任されています。指導者は2年に一度、県教育委員会主催の部活動指導者研修を受講しなければなりません。いざ傷病者を目の当たりにしたとき、落ち着いて救命処置を行うためには、訓練をしておくことが大切です。私は過去に何度か受講した事がありますが、今回は約50人ほどの参加者で1人ずつ心肺蘇生法の手順通りに行い万が一の場合に備えます。現在では中学校の柔道人口が少なくなり、団体戦の5人が揃わないチームや人数が少なく部活動がしっかりと行えないチームもあるとの事ですが、AEDを使用する機会が無い事を祈ります。



診療時間の案内

平日 午前8時30分～午後12時00分 午後3時00分頃～午後7時

土曜日 午前8時30分～午後12時00分 日曜・祝日は休診

受付は終了30分前 自由診療 随時受付 TEL26-5755

熟語の答え

睡眠

超越

燃焼